

令和3年9月29日

保護者各位

宜野湾市立大山小学校
校長 宮城 信夫
(公印省略)

NPO 法人 メッシュ・サポートへの 募金の協力について (お願い)

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、救急の日(9月9日)を機会に、救急処置、へき地離島医療の現状について学習を深めました。医療格差の問題については、本島中部に住んでいる私たちにとって、遠い話のように感じますが、多くの離島や北部へき地地域を抱える沖縄県にとって、とても身近な問題です。来月6年生は北部地区へ修学旅行があります。北部地区や離島で安心して学習するためにも救急ヘリの存在は大きいです。

そこで、命の大切さを考え、一人でも多くの人の命が救われるように、自分たちにできることを考えてもらう機会とするとともに、北部地域救急救助ヘリ及びメッシュ飛行機の運航継続を願い、児童会、保健委員会を中心に募金活動を実施します。

つきましては、下記の日程で募金活動を行いますので、この活動に賛同いただき、募金へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

記

- 募金期間
10月4日(月)～10月8日(金)
- 活動場所・時間
児童玄関前(1階と2階) 登校時 7:50～8:10



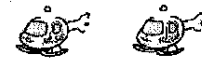
保護者向け募金活動

- ☆ 10月4日(月) 修学旅行説明会 場所:説明会会場
- ☆ 10月20日(水) 授業参観日 事務室カウンター(募金箱設置)

【注意事項】

* 児童に募金を持たせる際には、個人専用箱等はありません。お子さまへ封筒や袋などに入れて持たせてください。また、必ず朝、玄関前で募金箱へ入れるようにお話しください。

募金をすると・・・支援シールをプレゼントします



Medical Evacuation Service with Helicopter (ヘリコプターを活用した救急医療の提供)



NPO 法人メッシュ・サポートとは

離島・僻地の医療格差改善のため南西諸島全域にて医療活動に取り組む特定非営利活動法人です。2007年6月から北部地区医師会病院が開始した航空医療チームです。後にNPO法人に運営が移行し、運航開始から14年が経過しようとしています。この間、資金不足に伴う幾度かの運休と再開を繰返しながらも、これまでに累計1915件(※2021年6月25日時点)の航空医療活動を実施しています。

2018年11月から医療用ヘリの運営を終了し南西諸島全域における医療用飛行機の運営に移行。2020年10月1日から北部広域市町村圏事務組合より沖縄北部地域救急救助ヘリ運營業務を受託し、医療用ヘリの運営を再開しました。当法人の活動は救命のための活動であるとともに、自らの力で命を守るための策を具現化していく活動でもあります。寄附を財源とした救急ヘリ運営は難しいですが、離島・僻地の医療格差改善のために活動しているNPO法人です。